

令和7年度 第2回  
柏市教育福祉会館（ラコルタ柏）  
運営協議会\_資料

■日時

令和8年1月29日（木）  
午前10時00分～正午

■場所

ラコルタ柏 4階 集会室

# 目次

---

委員名簿	P. 3
出席職員名簿	P. 4
次第	P. 5
2 議題 (1) 前回の振り返り	P. 6 ~ 8
(2) 令和 7 年度事業実施状況	P. 9 ~ 13
(3) 令和 8 年度事業計画 (案)	P. 14 ~ 15
(4) 教福連携事業について	P.16~22
参考資料 ラコルタ柏 貸室の稼働率	P. 23

# 委員名簿

五十音順，敬称略

令和8年1月現在

氏名	所属等
赤松夏子	柏ドリーム手話ソング
伊藤嘉章	柏市小中学校長会
岩立和男	柏市ふるさと協議会連合会
岩永牧人	柏市地域生活支援センター
金子洋子	柏市民生委員児童委員協議会
坂上彩子	ママパパBOUSA   ライフ
杉山協	公募委員
丹間康仁	国立大学法人 筑波大学
堀内美穂子	学校法人江戸川学園 江戸川大学
森雅貴	特定非営利活動法人イシュープラスデザイン

## 出席職員名簿

所属	役 職	氏 名
福祉部	部 長	矢 部 裕美子
福祉部 福祉政策課	次 長	渡 邊 浩 司
生涯学習部	部 長	宮 本 さなえ
生涯学習部 生涯学習課	課 長	田 中 義 通
生涯学習部 中央公民館	館 長	村 山 勝 利

### 事務局

- ・福祉部 福祉政策課
- ・生涯学習部 中央公民館
- ・柏市社会福祉協議会

# 次第

---

- 1 開会挨拶
- 2 議題
  - (1) 前回の振り返り（報告）
  - (2) 令和7年度事業実施状況
  - (3) 令和8年度事業計画（案）
  - (4) 教福連携事業について
- 3 事務連絡
- 4 閉会挨拶

## 2 議題 (1) 前回の振り返り

NO	ご意見	進捗状況等
1	中央公民館事業のホワイトボード企画について、匿名だと意図された内容だったかどうかの確認が困難。応募方法と意見の取り上げ方についても重要な視点	<b>【実施済】</b> ホワイトボード企画の良さとして、他の人の書き込みを見て「盛り上がる」、「参考にする」ことができる点にある。そのためには匿名とするしかなく今のやり方がベストと考えるが、引き続き最善策も研究していきたい。なお、匿名ではない企画提案は、J S I 委員からあり、対話により事業展開を実施。
2	継続的な学びとつながりを意識	<b>【実施済】</b> こどもダンスパフォーマンスの講座で、フォローアップ講座を実施。6名の子供が参加し、公演に向けて練習し、講師と一緒に駅前のイベントでダンスを披露。

## 2 議題 (1) 前回の振り返り

NO	ご意見	進捗状況等
3	ラコルタ柏に来ていただく (を知られる) には	<b>【検討】</b> パレット柏で障害理解イベントについてのパネル展示を実施する等広報を強化しているが、人の集いやつながり、広がりといった館のテーマを念頭に、人が行きたいと思わせる事業展開等を検討。
4	募集して人数が多かった企画について再度開催予定	<b>【検討】</b> 講座のマンネリ化とならないよう、必要に応じて企画検討。
5	・ 広報力が課題 ・ 若者がターゲットなら、SNS (Instagram, X) の活用	<b>【実施済・検討】</b> 若者向けだけと限定せずSNSの効果的 (時期・時間) な情報発信を研究するとともに、TeToTeなどの若者が集まる場所にチラシなどを配架。 また、若者が作成したチラシの掲載や一部デザイナーに依頼するなど、効果を検証。

## 2 議題 (1) 前回の振り返り

NO	ご意見	進捗状況等
6	近隣センターで出張講座の開催や、こども食堂との連携等	<b>【実施済】</b> 中央公民館では、今後もスマホ講習会などの社会課題や地域課題に向けた講座を実施。 また、社会福祉協議会では、地域担当との連携により、ラコルタ柏でつながった活動者を地域へ紹介して講座展開などの事例が出ています。 引き続き、こども食堂などの地域の声やニーズを把握しながら事業展開を進める。
7	子供向けイベントの目的を明確化	<b>【実施済】</b> 子育てや子どもなど、対象が分かりやすいように、イベントのタイトル付けの工夫。
8	地域の担い手確保に公的支援	<b>【実施予定】</b> 他部署ではあるが地域課題を解決し、地域活動を支援する人材養成講座を開催予定。また、中央公民館としても地域課題解決講座等による人材育成講座を実施し、社会福祉協議会でも人材育成講座の他、イベント企画者や参加者から、担い手につながるような声かけを意識。

## 2議題 (2) 令和7年度事業実施状況

### 令和7年度事業・イベント 年間予定及び実施回数(令和7年12月末現在)

項目 [中央公民館]	年間 予定	実施 回数	項目 [総合福祉センター]	年間 予定	実施 回数
生涯学習事業			多世代交流	116	97
①生涯学習講座	17	11	子育て	53	39
②自主活動・地域 活動支援講座	5	5	児童健全育成	38	33
ラコルタ柏交流事業			フレイル予防	17	12
①講座型	4	3	障害理解・支援	2	1
②イベント型	8	7	居場所・相談支援	133	98
③通年型・しかけ づくり	7	7	ボランティア育成	6	4
<b>合計</b>	<b>41</b>	<b>33</b>	展示	17	12
			<b>合計</b>	<b>382</b>	<b>296</b>

## 2議題 (2) 令和7年度事業実施状況

### 【中央公民館・活動実績①】 ふるさと交流都市只見町から学ぼう！ ～ブナの森の自然と人の暮らし～

#### 実施のねらい

現地とオンラインで繋げることにより、より現地感覚を学ぶことができ、ふるさと交流都市である福島県只見町を多くの市民が知れる機会をつくることを目的に実施。



#### 実施日及び参加人数

10月18日(土)午前10時半～正午・10名  
場所：3階オープンスペース

#### 活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

初めての試みで、オンライン講座を3階オープンスペースで実施。参加人数は少数であったが、各世代が参加。また、講座中は只見町との音声が1・2秒音が途切れることはあったが、大きな問題もなく終えた。

##### 【参加者の反応】

・「只見町に行ってみたい」「ブナの森との共生を知ることができて良かった」というアンケート回答が多く得られた。

##### 【わかったこと】

・イベントの多い10月中旬に実施したこともあり、参加者数も少なかった。オンライン講座を実施する場合は、開催時期や、公民館に集まるだけでなく、自宅でも参加できるよう工夫して実施を検討する。

## 2議題 (2) 令和7年度事業実施状況

### 【中央公民館・活動実績②】「コミュニティリンクワーカー」って何？

#### 実施のねらい

障害者支援の現状は就労に限定しがちである。障害者に寄り添い、本人の持っているもの（才能・技術・興味等）に気づき、学びの場の提供や学んだことを活かして活躍できる場へとつなげ、本人が主体的に社会参加していくことで、自信ややりがいを見つけ、より豊かな人生へとつながる支援を行う人材について学ぶ目的。



#### 実施日及び参加人数 (R7.12末時点・実施中)

時間：午前9時半～午前11時半

12月 4日(木)・24名 場所：4階集会室

12月18日(木)・21名

1月 9日(金)及び1月22日(木)に実施予定

#### 活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

##### 【参加者の反応】

・ワークやカードゲームを取り入れた講義のなかで、積極的に取り組みながら、参加者同士の交流を育み、楽しく学んでいる様子が伺えた。

##### 【やって見えたこと・わかったこと】

・コミュニティアート体験を通じて、参加者同士で一緒に絵を描いたり、全体で見せ合ったりしたことで、参加者自身が自分を見つめ直すきっかけになったと思う。また、他者との価値観の相違や表現のかたちの違いを体感したことで、他者への理解の気づきにつながったように思う。

・「自分の好き」と向き合い共有することで、安心して話せる場の創出につながられたり、また、「傷つき体験」をモンスターにして観察、対話することで、自らを理解するきっかけにできることを学んだ。

## 2議題 (2) 令和7年度事業実施状況

### 【総合福祉センター・活動実績①】 おさがり交換会 — 思いがめぐる子育てのバトン —

#### 実施のねらい

子ども用品の交換を通じて、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、誰もが気軽に参加できる場をつくることで、子育て中の不安や悩みに早期に気づき、必要に応じた支援につながるきっかけをつくる

#### 活動の結果 (R7年12月時点・実施中)

- ・ 昨年度より年1回開催
- ・ 実施日：9/24 (水)
- ・ 場祖：多世代交流スペース1・2
- ・ 延べ人数：47名



#### 活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

##### 【参加者の反応】

- ・ 子どもの成長に伴う買い替え負担が軽減されたとの声があった
- ・ ゆずる側からも「また使ってもらえる安心感がある」と前向きな反応が見られた

##### 【やって見えたこと】

- ・ 物品のやり取りをきっかけに、保護者同士の自然な会話が生まれた
- ・ 参加条件を緩やかにしたことで、初参加を含む幅広い来館があった

##### 【わかったこと】

- ・ 園の実践を連携事業として、ラコルタ（地域）の場につなぐことで、身近な取り組みが多様な家庭に届き、支援を意識させずに見守りや相談につながる可能性が広がるのが分かった。

## 2議題 (2) 令和7年度事業実施状況

### 【総合福祉センター・活動実績②】「リラックス&ハッピータイム」

#### 実施のねらい

- ・誰もが気軽に参加でき、前向きなうらおいをもたらす時間をつくる
- ・ネイルやメイク、マッサージ等を通じて、障がいの有無に関わらず共に過ごすことを日常的なこととして捉えるきっかけを創出する

#### 活動の結果 (R7年12月時点・実施中)

- ・実施日：12/6(土)
- ・場所：1階あ・えーるテラス
- ・延べ人数：85名



#### 活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

##### 【参加者の反応】

- ・複数ブースにより、参加者が自分のペースで楽しめた
- ・参加前後で表情が大きく変わり、「リラックス」「楽しかった」といった反応が多く聞かれた

##### 【やって見えたこと】

- ・初めて顔を合わせる講師4名による開催で、講師同士の横のつながりも生まれた
- ・障がいのある方、高齢親子、夫婦、学生、子育て世帯など、幅広い層が参加できた

##### 【わかったこと】

- ・心身がほぐれる体験を共有することで、参加者の自己肯定感や前向きな気持ちが引き出され、意欲につながる可能性が見えた。多業種の取組を行っている方々と連携することで、講師同士の横のつながりが生まれ、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる場づくりへの意識が高まった。

## 2議題 (3) 令和8年度事業計画(案)

### 令和8年度事業計画(案)・中央公民館

#### 概要

令和6年度より、従来の年齢等による事業区分ではなく生涯学習事業とラコルタ柏交流事業との2つの事業区分で引き続き展開していきます

区分	ねらい	講座名/型	想定する講座や内容
生涯学習事業	第4次柏市生涯学習推進計画改定版(案)で示される柏市が目指す生涯学習像「知の交流を通じて人と地域のウェルビーイングを実現するまち柏」を推進する	生涯学習講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏休みこども教室」</li> <li>・学生講師講座</li> <li>・社会変化・社会的テーマ(人生百年時代やSDGs等行政課題)に対応した講座(単発・啓発を含む)</li> </ul>
		自主活動・地域活動支援講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ型の事業展開</li> <li>・自主活動グループによる講座</li> <li>・地域での活躍を視野に入れた、団体や人材の育成講座</li> </ul>
ラコルタ柏交流事業	ラコルタ柏のコンセプト「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」の実現のため、交流の継続やコミュニティ形成を目指し、集いのきっかけづくりやしくみづくりを意識して、教育と福祉の融合による講座等を交えながら事業展開を図る	講座型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティリンクワーカー養成講座」</li> <li>・ラコルタ柏を中心とする活躍を視野に入れた、団体や人材の育成講座</li> </ul>
		イベント型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ラコルタ柏フェスティバル」</li> <li>・「わくわく人形劇まつり」</li> </ul>
		通年型・しかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード交流事業</li> <li>・「お昼に届けるminiライブ」</li> <li>・オープンスペースへの図書紹介コーナーの随時設置</li> <li>・「笑顔のBUTSUBUTSU交換」</li> <li>・館内装飾ワークショップ</li> <li>・ラコルタ柏ガーデニング</li> <li>・ぬり絵体験</li> <li>・学習スペース設置事業</li> </ul>

## 2議題 (2) 令和8年度事業計画(案)

### 令和8年度事業計画(案)・総合福祉センター

#### 概要

個人や団体からの提案により，障害の有無・性別・世代を超え，誰もが参加できるイベント，講座，相談・居場所について，企画運営をしていきます。また，孤独・孤立などの課題を抱える方に対し，参加や活躍の機会提供等コーディネートを行います。

	ねらい	想定する講座や内容
多世代	対象を問わない参加・交流	例 ピラティス，ウクレレ体験，アイシングクッキー作り 生前贈与のあげ方・もらい方，ハマグリでお雛様アート
妊娠・子育て	子育てに係る学び，親子同士の交流	例 産前産後の体の講話，出前保育，1歳の時間 リトミック，保育園入園準備相談会，育児の悩み座談会
児童健全育成	主として小中高生対象に，進路や将来目標につながる学習や体験	例 中学生限定e-sports大会，フラワーアレンジ体験 ヒップホップダンス，スキンケア講座，マイ屋台を作ろう
シニア・フレイル予防	スポーツや文化（IT関係含む）などのイベントを通じたフレイル予防	例 品よく華やぐメイクの秘訣講座，生演奏でみんなで歌おう！ パソコン活用 パワポ編，転倒無視テスト
障害理解	イベントを通じた，障害の理解をはじめ、当事者との交流	例 親子で福祉用具体験，手話カフェ，義足体験 リラクゼーションワークショップ
人材育成	ボランティア活動につながる講座や体験	例 ボランティア入門講座，夏ボラ説明会
居場所・相談支援	福祉ニーズを抱えた当事者や家族などが気軽に参加・利用できる居場所や相談	例 かしわっ葉サロン，22カフェ，医ケアっこサロン 10代のほっとカフェ，引きこもり家族の会，うつ病当事者・家族会
展示	絵などの作品披露の場，来館者へ施設（空間）の彩り提供	例 絵，写真，習字などの展示

## 2議題 (4) 教福連携事業

### 【活動実績】ラコルタ柏フェスティバル

#### 実施のねらい

- ・ラコルタ柏において、各種取組を行っている団体やサークル等が一堂に会して日頃の活動成果や作品などを発表し、来場者に団体活動のPRを行う。
- ・団体の主体性を高めるとともに、団体同士の交流を図る。

#### 実施日及び参加人数

11月8日（土）正午～午後16時  
11月9日（日）午前10時～午後16時  
参加団体数 22（前年度29団体）  
参加者 延べ1,837名（前年度1,932名）



#### 活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- ・今回は、3階～5階での参加団体による販売やキッチンカー設置などの新たな取り組みを実施。

##### 【参加者の反応】

- ・参加団体「役割を通じて親しみや友情を感じた。参加して事業がどう作られていくかが分かった」
- ・来館者「楽しかった」「あたたかい雰囲気の良い街だなと思った」

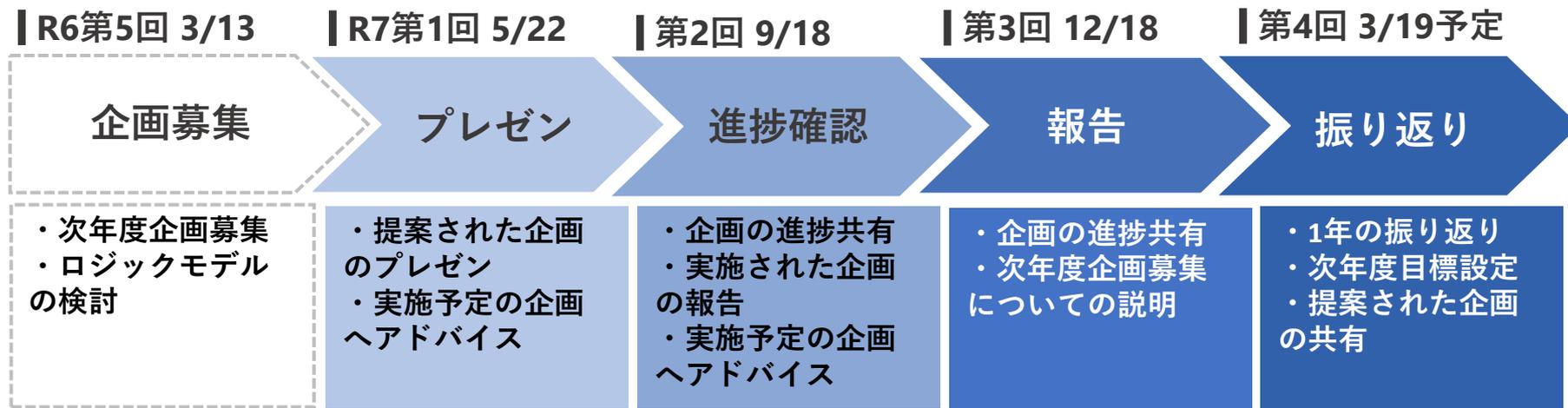
##### 【やって見えたこと】

- ・昨年度に引き続き、広報・周知に力を入れ、インスタグラム発信や柏駅東口サイネージでの動画による開催案内なども実施したが、来館者が減少した。参加団体が減少したことが主な原因と見られ、次回に向けては、参加団体が参加しやすいよう実行委員会の実施方法について検討がされている。

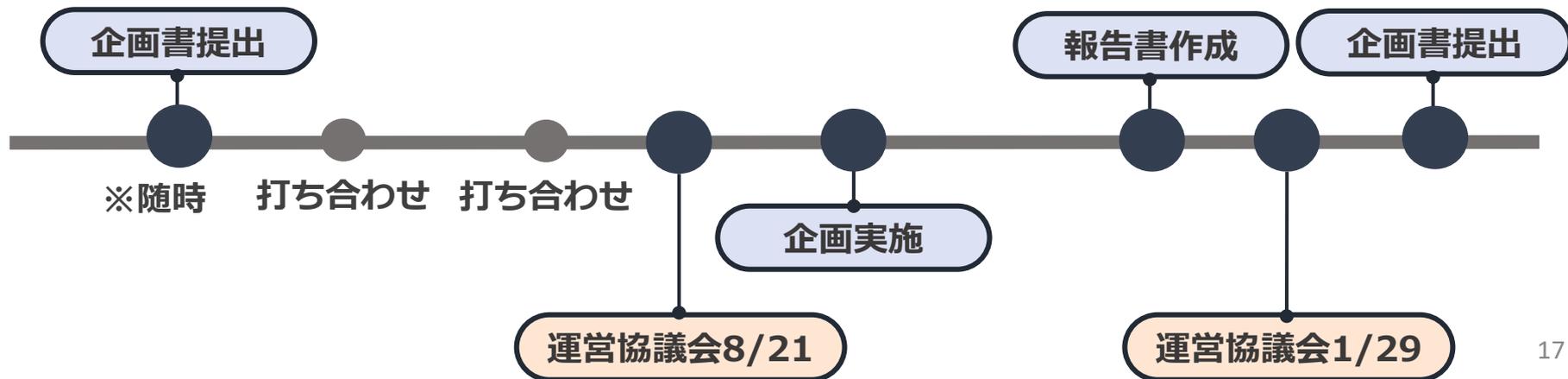
## 2議題 (4) 教福連携事業

### 令和7年度ラコルタ柏事業推進委員会 (JSI) の開催スケジュール

#### 事業推進委員会の開催スケジュール

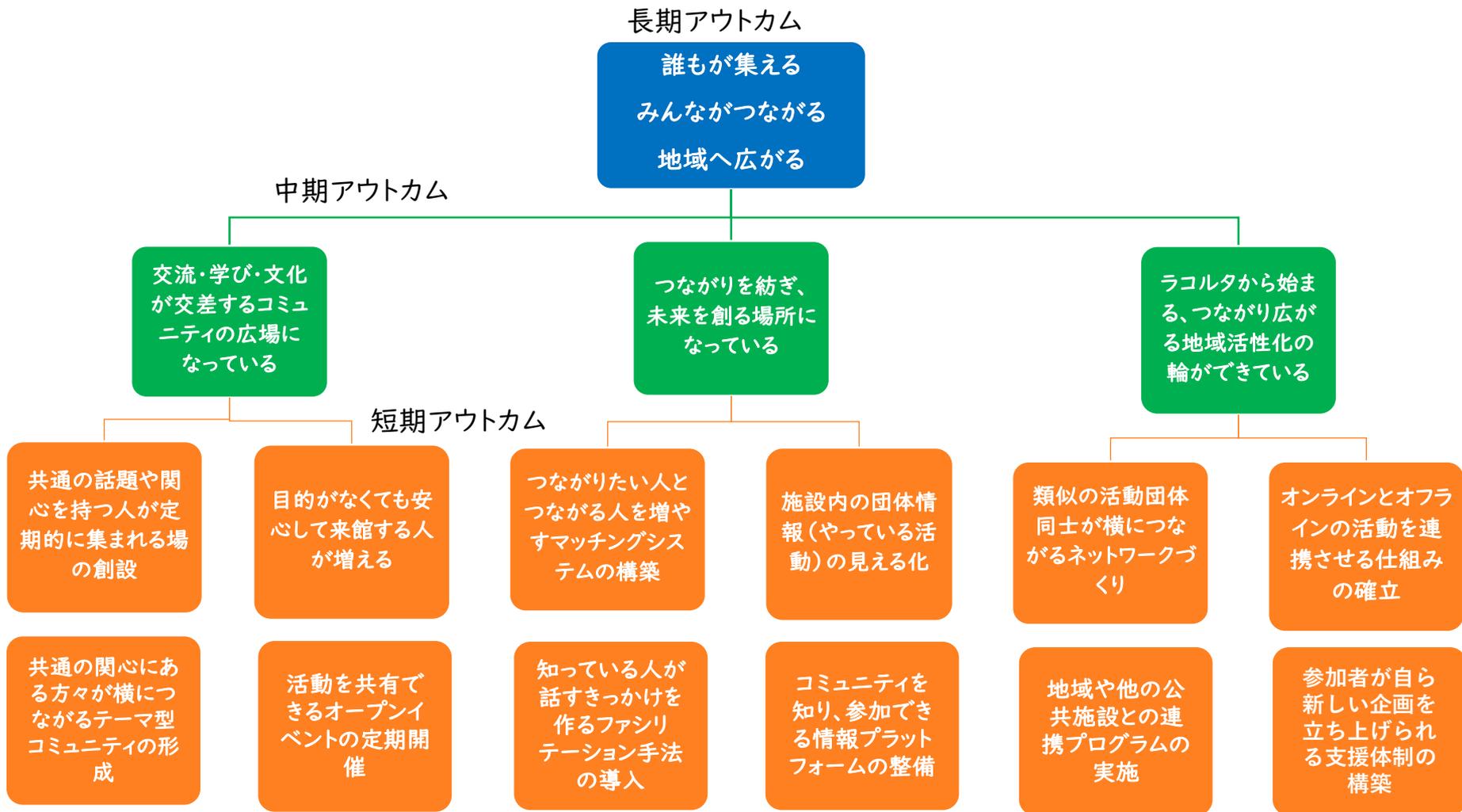


#### 委員提案による企画の実施の流れ



# 5 議題 (4) 教福連携事業

## 令和7年度ラコルタ柏事業推進委員会 (JSI) ロジックモデル



## 2議題 (4) 教福連携事業

### ラコルタ柏事業推進委員会(JSI)企画

#### 【活動状況①】音であそぼう 音楽室でストリートピアノ!

##### 実施のねらい

ピアノ(楽器)に興味のある方が誰でも触れられるよう、ピアノが使える部屋を開放し、実際に触れてもらう。



##### 実施概要

令和7年11月8日(土)13:00~14:00 於：5階音楽室, 11月9日(日)13:00~14:00 於：3階オープンスペース

事業推進委員会(JSI)に企画提案のあった「音楽室でストリートピアノ」を、内容をふまえてラコルタ柏フェスティバルで実施した。一日目(9日)は、音楽室で来訪者に自由にピアノに触れてもらい、提案者(JSI委員)が、適宜伴奏等を行いながら皆で演奏を楽しんだ。二日目(10日)はオープンスペースにキーボードを設置し、参加者が順次自由に演奏するとともに、皆で音楽に合わせてラジオ体操等も行った。

- 1 内容 ピアノ(楽器)を管理できる管理人を置いたうえで音楽室を開放し、来訪者に自由に触れてもらう
- 2 参加者数 2日間で約30名(当日参加型)
- 3 主催等 ラコルタ柏フェスティバル実行委員会, 提案者: 館の登録団体(JSI委員)

##### 成果/目標 達成状況など

【目標】わずかな人数でもピアノ(楽器)を楽しんでいただければ成功

**達成** [フェスティバルでの実施が10月に確定したためパンフレットに企画を掲載することはできなかったが、当日来訪者がとぎれることはなく、ピアノの音色に惹かれて幅広い年代の参加者があった]

- ・ピアノに初めて触れた方でも、提案者(JSI委員)のサポートにより演奏を楽しむことができた。
- ・フェスティバル当日音楽室を利用する他団体との交流・コラボレーションが生まれた。
- ・音楽室を開放することで、部屋の新たな利活用につながった。

## 2議題 (4) 教福連携事業

### ラコルタ柏事業推進委員会(JSI)企画 【活動状況②】 道が割れたらどう進む?

#### 実施のねらい

いつどこで巨大地震が起こってもおかしくない現在、災害発生時の高齢者や障害者の避難行動について実例を知り、日ごろから必要な備えについて考える。



#### 実施概要

令和7年12月7日(日)10:00~11:15 於: 1階障害者活動センター

事業推進委員会(JSI)に提案のあった当企画は、車いす利用者であるJSI委員からの提案であることから、12月に館内で予定されている「障害理解イベント」の一環として実施することとなった。「障害理解イベント」に向けて話し合いが行われている“障害者活動センター登録団体ミーティング”内で調整し、各団体との連携もはかりながら実施に向けて進めた。

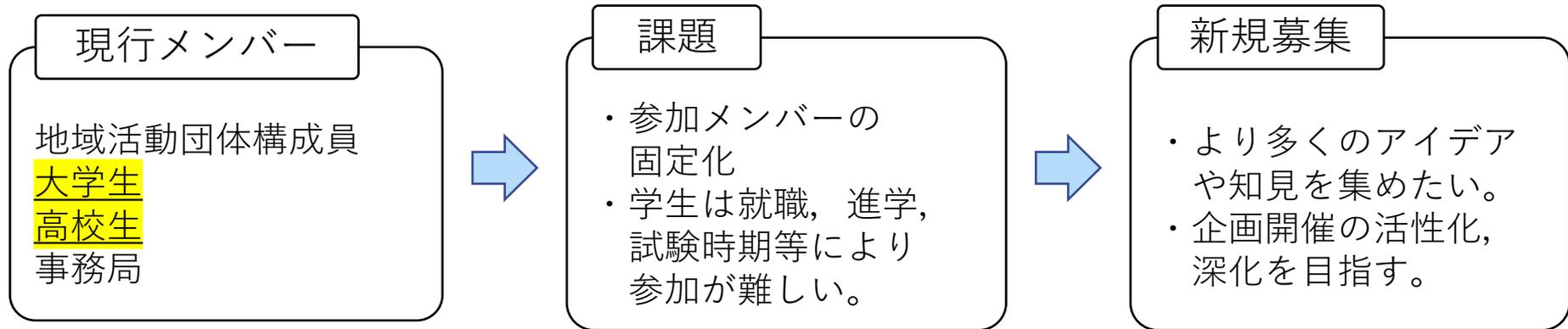
- 1 内容 車いす利用者であるJSI委員が、被災地である能登へ行き現地で聞き取りを行った内容を伝える
- 2 参加者数 9名
- 3 主催等 柏市・障害者活動センター登録団体, 提案者: JSI委員

#### 成果/目標 達成状況など

【目標】 災害発生時、避難行動をする高齢者や障害者が危険を伴うことへの理解が深まった方が8割  
**達成** [ 障害者の視点から震災時の課題を具体的に伝えるという企画の主旨は達成できた。特に、一般的な防災情報では触れられにくい移動・避難の困難さについて理解を促す点で、目標に沿った実施となった ]  
・能登での被災体験を車いす利用者の視点から、現地での各関係者への聞き取り内容や写真・映像を交えて共有することで、参加者に災害発生時の移動・避難の課題が具体的に伝わり、防災に対する理解と意識の向上につながった。終了後、他地域でもこの企画を実施してほしいという依頼があり、今後の広がりも期待される。

## 2議題(4)教福連携事業

### JSI委員の新規募集について



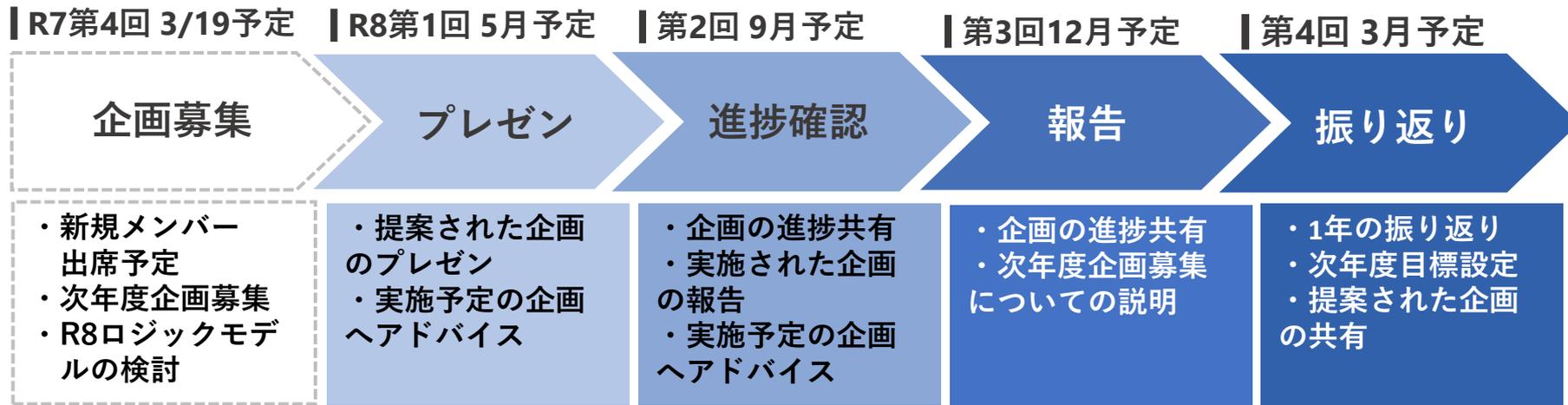
#### ◎募集の流れ

1. 広報かしわ1月号(12月下旬配布)で新規募集を周知
2. 申込(1月30日まで。申込フォームを通じて。)
3. 面接(2月上旬を予定)～新メンバー決定
4. 令和7年度第4回(3月19日開催予定)から参加予定

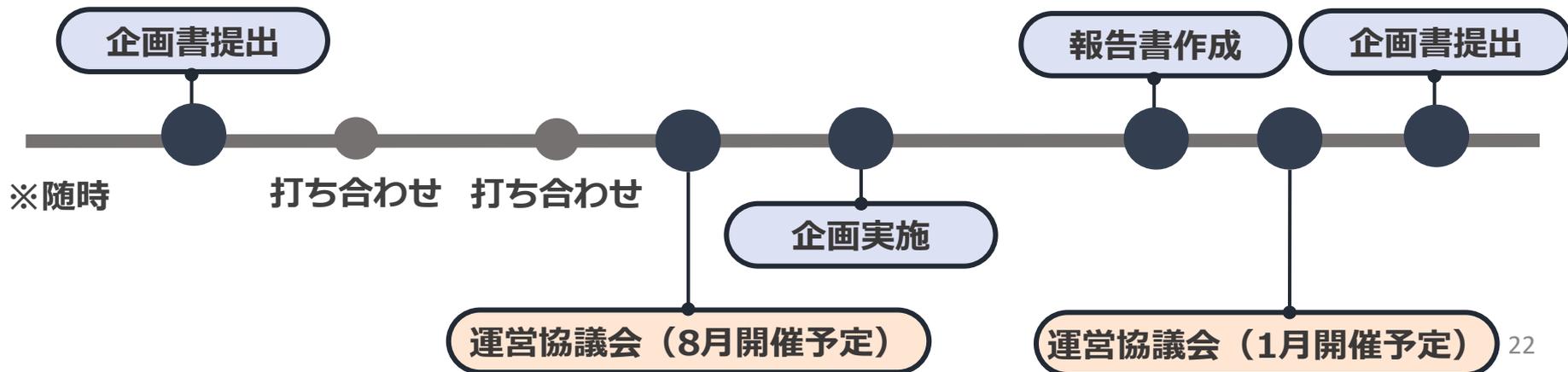
## 2議題 (4) 教福連携事業

### 令和8年度ラコルタ柏事業推進委員会 (JSI) の開催スケジュール

#### 事業推進委員会の開催スケジュール



#### 委員提案による企画の実施の流れ



# 参考資料

## ラコルタ柏 貸室の稼働率(参考) ※令和7年12月末現在

月	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4	46%	49%	52%
5	46%	48%	52%
6	49%	54%	53%
7	55%	56%	53%
8	42%	50%	50%
9	49%	55%	51%
10	54%	61%	55%
11	56%	59%	61%
12	49%	52%	53%
1	49%	53%	—
2	57%	60%	—
3	48%	51%	—
平均	50%	53%	53%

### ラコルタ柏部屋別稼働率(上位・下位)

#### 総合福祉センター

部屋名	稼働率	定員	利用料
多目的研修室	42%	61人	780円
講座室	32%	18人	420円
活動室	31%	25人	530円

#### 中央公民館

部屋名	稼働率	定員	利用料
音楽室	93%	80人	470円
会議室5A	66%	25人	370円
}			
茶室	19%	17人	370円
料理実習室	13%	25人	780円